



ママの質問で

「ヘルプが出せない」  
発達凸凹キッズの

伝える力を  
伸ばす本

効果抜群!

簡単!

脳科学

心理学

教育学

発達科学  
コミュニケーション  
トレーナー  
横山美穂 著



ママが1日1つ、質問するだけ!

# はじめまして！

---

ママの**質問力**で、  
「教えて！」「助けて！」と  
言えなくて困っている  
発達凸凹キッズの**伝える力**を伸ばす！

発達科学コミュニケーション  
トレーナーの横山美穂です。

このたびは、小冊子をダウンロードして  
いただき、ありがとうございます。

この小冊子では  
低学年のお子さんの  
**伝える力**を伸ばすために



お母さんの**質問力**  
**コミュニケーション**を  
アップデートする秘訣を  
たっぷりとお伝えいたします。

ぜひ、今日から実践してみてくださいね♪



困っているのに  
ヘルプが出せない  
発達凸凹キッズの  
一生モノの

自信と伝える力

を授けるママになる  
質問力&コミュカアップ

3Step個別相談会

ダウンロード読者様特典

通常22,000円のところ

先着10名様限定、無料ご招待♪

90分・ZOOM  
PC・スマホで受けられます



発達科学  
コミュニケーション  
トレーナー 横山美穂

▼お申し込みはこちらをクリック▼

<https://www.agentmail.jp/lp/r/6382/59838/>

# CONTENTS

---

## Chapter 1

**なぜ、困っているのに  
「助けて！教えて！」と言えないの？  
脳科学的メカニズム！**

## Chapter 2

**なぜ、「助けて！教えて！」  
と言う力が大切なの？**

## Chapter 3

**なぜ、ママの質問力が大切なの？  
～ママの質問力&コミュニケーションカスキル診断付～**

## Chapter 4

**私の暗黒の子育て期**

## Chapter 5

**ママの質問力をアップデートすれば  
お子さんの伝える力を  
グングン伸ばせます！**

# Chapter 1

**なぜ  
困っているのに  
「助けて！」「教えて！」  
と言えないの？  
脳科学的メカニズム！**



# お子さんに伝える力がありますか？

この小冊子を読んでくださっているということは、次のような心配ごとがありませんか？

「今日、学校（幼稚園）はどうだった？」と質問しても「**わかんない～**」の返事だけ。園や学校の様子がまったくわからない・・・

子どもの話が曖昧で**時系列もぐちゃぐちゃ**。結局なにが言いたいのかわからない・・・

友達から嫌なことをされても**断れず**いつも**泣いて**ばかり、**我慢**ばかり。

困っているのに**教えて！**と言えない。



このままで大丈夫？

# 伝えるのが苦手な子の正体は？

また、ヘルプが出せない  
発達でこぼこキッズは  
以下のような特徴があります。

**感覚が敏感だったり  
鈍感だったする。**

**こだわりが強い**

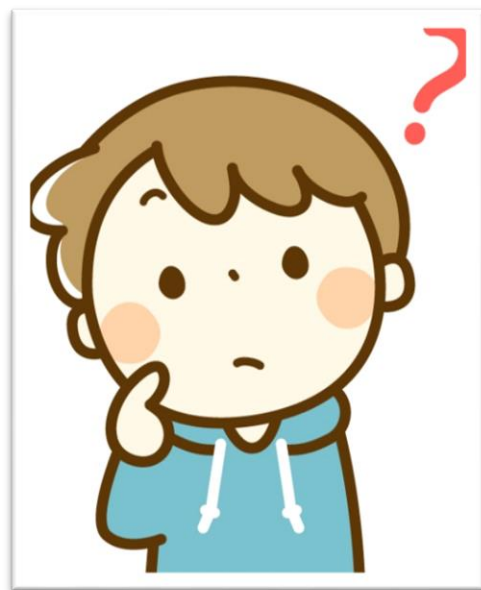
**感情や行動の  
切り替えが苦手**

**人見知り  
場所見知りが激しい**

**好きなことと嫌いなことの  
差が激しい**

**不安感が強い**

社会性に  
特徴があります



# 脳のメカニズムをみてみよう！

ここで脳の中を覗いてみましょう！  
私達のかめかみにあたるところに  
**伝える脳**があり、ここが発達することで

**話す力**

**書く力**

**表現する力**

**コミュニケーション**等の

アウトプットする力と伸びてきます。

また、**体験する**ことにより  
大人になってからでも  
発達する領域ですので

小さいうちから  
躍起になって発達させようと  
しなくても大丈夫です。



また、伝える脳は、右と左で働きが異なります。

右側の伝える脳は

**表情・ジェスチャー・イメージ**

を担当し**ビデオのような機能**をもっています。

一方、左の伝える脳が

**言葉**を担当し

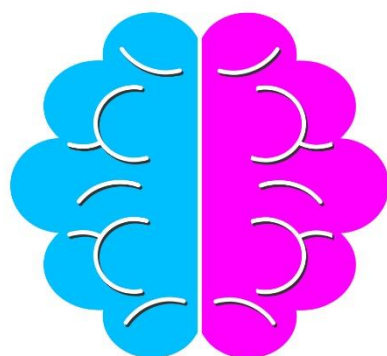
**スピーカーのような機能**をもっています。

左脳

右脳

**スピーカー機能**

・言葉



**ビデオ機能**

・表情  
・ジェスチャー  
・イメージ

一般的に、女の子の方が

左側の伝える脳（言葉）が早く発達します。

ここでの着眼点としては

困っているときにヘルプを出せないのは、

**脳の発達の状態に**

**でこぼこがありえる**ということです。

# 発達のでこぼこって何だろう？

子ども達は体の成長とともに、  
脳も成長します。  
その成長の過程で

**発達しているところ**と  
**発達がゆっくりなところ**があり、  
その差の大きい子ども達があります。

この子ども達は  
発達にでこぼこがある、あるいは  
発達グレーゾーン・育てにくい子と  
言われています。

現在、通常級に発達障害の子は約6.5%在籍し  
(30人1クラスに2人くらい)

さらに発達障害と診断がつかないが、  
集団生活で**困っている**子ども達は  
**10~20%**という報告もあります。  
(30人1クラスに3~6人くらい)

# 発達のでこぼこはスペクトラム

また、発達のでこぼこは最近では

**スペクトラム**と考えられています。

ここまでが発達障害で、ここまでがグレーゾーン  
というように線引きされるものではなく、  
**断続的、繋がっている**ということです。

例えとして、発達の特性が薄い水割りが、  
右にいくほど濃度が濃いウイスキーのロックに  
近付くとイメージしてみてください。

## 発達のでこぼこはスペクトラム



# 伝えられない2つの理由

では、なぜヘルプが出せないのでしょうか？  
次の**3つ**のタイプにわけられます！  
お子さんはどのタイプでしょうか？

## ①脳の特徴

- ・ 伝える脳の**発達**が**ゆっくり**
- ・ 話しの構成を考える力である  
**ワーキングメモリー**の**働きが弱い**  
ことがあげられます。そのため
- ・ どもってしまう
- ・ 会話の受け答えがちぐはぐになる
- ・ なにを話していたのか覚えていない
- ・ なにを話せばいいのかわからない

ということがおこり

**コミュニケーションに支障**が  
おきてしまいます。



## ② 気質（マインド）

- ・ **繊細**な気質。
- ・ **緊張**して話せない。
- ・ **自信**がない。

そのため

- ・ 知らない人には話せない。
- ・ 家だと話せるが幼稚園・保育園・学校では話せない。
- ・ 発表のときには話せない。

ということがおこってしまいます。

## ③ 脳の特性と繊細な気質を あわせもつため

以上から

**伝える脳**を発達させること

**ワーキングメモリー**を強くすること！

**自己肯定感**をあげることが

鍵となるのです。





困っているのに  
ヘルプが出せない  
発達凸凹キッズの  
一生モノの

自信と伝える力

を授けるママになる  
質問力&コミュカアップ

3Step個別相談会

ダウンロード読者様特典

通常22,000円のところ

先着10名様限定、無料ご招待♪

90分・ZOOM

PC・スマホで受けられます



発達科学  
コミュニケーション  
トレーナー 横山美穂

▼お申し込みはこちらをクリック▼

<https://www.agentmail.jp/lp/r/6382/59838/>

# Chapter 2

なぜ、  
「助けて！教えて！」  
と言う力が  
大切なもの？



# 小学校は不安がいっぱい

もともと**不安**を強く感じる  
**脳**の**特性**を持っている子ども達。

1年生は大きいランドセルを背負い

はじめての**ひとり登下校**

はじめての**集団登下校**

小学校というはじめての**大きな集団**に  
行くことは

私達おとなが思っている以上に  
ストレスを感じているのです。



■ **ランドセルの  
大型化**



■ **はじめての  
学校**



■ **はじめてのひとり登下校  
はじめての集団登下校**

# 園と小学校の違いは？

## ①環境の変化の問題

遊びから**座学**の勉強へ（45分間、椅子に座る）

担任**1人あたりの児童数**が増える

※学校により差はあります

**時間割**にそって授業が行なわれる

子ども自身が**自分で**判断し動く場面が増える

+

## ②個（子ども）の問題

苦手な授業は45分座り続けるのが**辛い**

大人数で**緊張**する。**不安**になる。

次の教室移動はどこに行けばいいのかわからない

**一斉指示**だと、聞き漏らしてしまう。

困っていると  
伝えられる



困り事が解決

困っていると  
伝えられない



先生はSOSに  
気付かない

# 6月は疲れがピークに！

4月、5月は  
新しい環境になれようと  
一所懸命に頑張っている子ども達。

6月頃から**勉強が本格化**しますし  
**運動会**などの行事も、発達凸凹キッズ達の  
疲れを助長させてしまいます。

このように小さな**ストレス**や**緊張感**を抱  
えながら学校生活を送っている  
発達凸凹キッズも少なくないのです。

ヘルプを出せない子は、  
朝になると頭痛や腹痛を訴える、チックなど  
**身体症状**に現れたり、  
あるいは、**爪かみ**や、**癩癢が増える**な  
どの行動の変化が現れることも。

しっかりとお子さんの**SOS**を見逃さないよう  
に**観察**してあげてくださいね。

# ヘルプを出せないとどうなるの？

ヘルプを出せない子の心と脳の状態を覗いてみましょう。

もともと感受性が強く  
**ネガティブな記憶**が溜まりやすい  
脳の特徴を持つ子ども達です。

「授業がわからない」と  
言えなくて困っている。

クラス移動など状況把握ができずに  
教室でひとり残されてしまう。

そうした小さな**ストレス**が  
積み重なって不安が募ると  
**自信をなくして**しまいます



頭が痛い等、**身体症状**がでて  
**登校しぶり**や**不登校**。

いわゆる**二次障害**と言われる状態に  
なってしまう子ども達もいるのです。



困っているのに  
ヘルプが出せない  
発達凸凹キッズの  
一生モノの

自信と伝える力

を授けるママになる  
質問力&コミュカアップ

3Step個別相談会

ダウンロード読者様特典

通常22,000円のところ

先着10名様限定、無料ご招待♪

90分・ZOOM  
PC・スマホで受けられます



発達科学  
コミュニケーション  
トレーナー 横山美穂

▼お申し込みはこちらをクリック▼

<https://www.agentmail.jp/lp/r/6382/59838/>

# Chapter 3

## なぜ ママの質問力が 大切ななの？



# 伝える力はどこで育てるの？

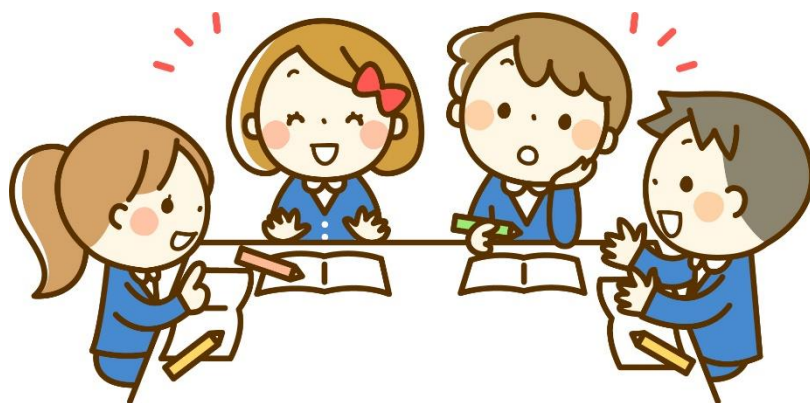
今、学校現場では  
先生が一方向的に教える  
ティーチングのスタイルから

**子ども達がディスカッション**をするような  
授業形態が増えつつあります。

しかし、**伝えるのが苦手な**  
発達凸凹キッズたちにとって

この**ディスカッションスタイル**  
**自分の考えを発表する授業**自体が  
苦手な子も多く

学校で伝える力を伸ばしなさいというのは  
いきなり8段の跳び箱を跳びましょう！  
と言っているようなものです。



**失敗**すると次に**チャレンジ**しなくなる  
傾向が多い発達凸凹キッズ達に

この時期必要なのは

跳び箱を1段目から順番に跳んで  
**自信を積み重ねていくこと**です。

それができるのが  
お母さんとマンツーマンで  
コミュニケーションがとれる  
**ご家庭**ですね。

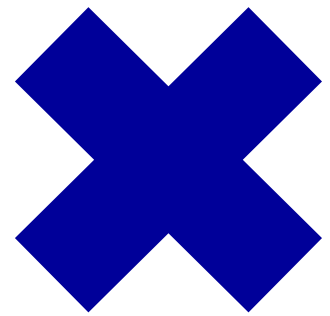


お母さんといっしょに  
スモールステップで  
小学校低学年までに  
**ヘルプを出す力**と**自信**を  
育てていきましょう！

# その声かけでは脳は発達しません

お子さんの伝える脳を伸ばそうと思っても  
「ちゃんと話して！」  
「一体何が言いたいのか？」なんて  
毎日、声かけをしていませんか？

イライラした声で話す  
小言や暴言を言う  
すぐに言い返す

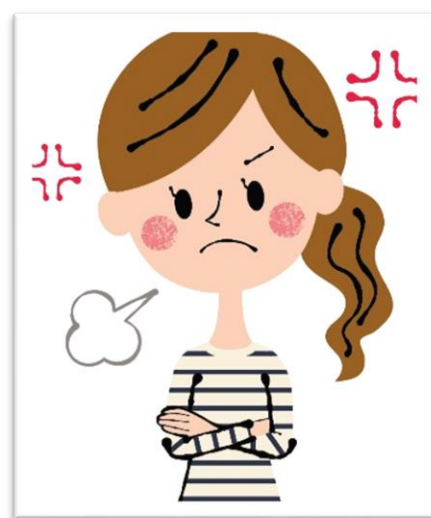


このような**ネガティブな声かけ**では  
子どもの脳には届かず  
**脳を発達させることができません！**



お母さんの視点からすると  
指示をしても動かない。  
何を質問しても答えてくれない。  
結局、我慢できなくて  
怒って終わりということが多いかもしれません。

しかし子どもの視点にたって  
考えてみましょう。



できないところを  
注意され  
強い口調で命令され  
最後には怒られてばかりだと

子どもは**自信をなくして**しまいます。

お母さんの言葉は脳に届かないと  
**子育てが難しくなる**ばかりです。

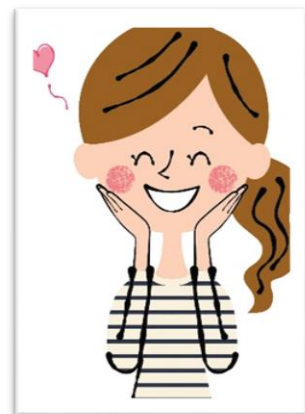
では、どうしたらよいのでしょうか？

# 伝える脳を発達させるには？

脳は**楽しいこと**や**嬉しいこと**

**わかる言葉**を聞いたときに  
**脳で酸素を消費して発達することが**  
最新の脳科学でわかっています。

お母さんがご家庭で  
できることは



子どもの**行動を引き出す**  
**質問や声かけ**  
**コミュニケーション**  
をすることです！

では、まずはお母さんの  
コミュニケーションと質問の現状を、  
次からみていきましょう！



発達します！



**Let's  
Challenge !**

発達凸凹キッズの  
「伝える力」を伸ばす！

# ママの質問力 & コミュニケーション

---

スキル診断

ご自分の質問力 &  
コミュニケーションの  
傾向をみていきましょう！

質問はたった4つです！

**YES**か**NO**でお答えください。  
迷ったらNOにしてくださいね！

いくつYESがついたかを  
数えてみてくださいね！



# スキル 診断①

いつも**笑顔**で子どもに質問する。

いつも**笑顔**で声かけをする！

子どもに話しかけている時の自分の顔を鏡で見てくださいね。

Yes !

No !

## スキル 診断②

子どもと接するときは、  
**否定**するよりも  
**3倍以上肯定**することの方が  
多い！

子どもができたことより  
子どもができなかったことばかり  
目についていませんか？

Yes !

No !

# スキル 診断③

幼稚園（保育園）や  
小学校の様子がしりたいとき

今日は幼稚園（保育園）小学校で  
誰と遊んだの？と  
何をして遊んだの？  
給食は何を食べたの？と  
**具体的に**質問する

Yes !

No !

## スキル 診断④

質問をしても、  
子どもがなかなか答えない時  
「わからない」と返事された時

**イライラ**することなく  
受け止めてあげられる！

**せかすこと**なく待ってあげている

Yes !

No !

## スキル 診断⑤

子どもが失敗をしたとき  
「だから、いったでしょ！」  
「なんでそんなことしたの？」と  
**非難することなく**

「じゃあ、次はどうしたらいいと  
思う？」と**冷静に質問**している！

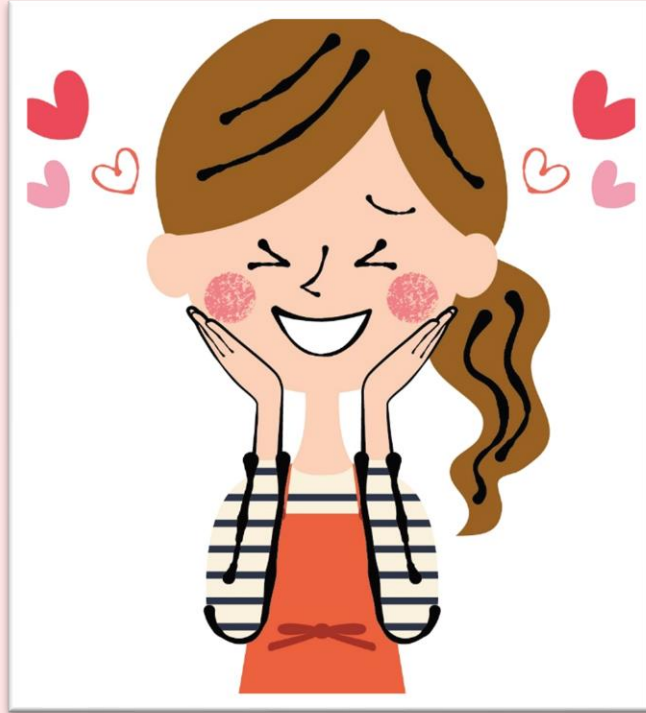
Yes !

No !

# 結果発表

5点  
満点

## 「上級者ママ」

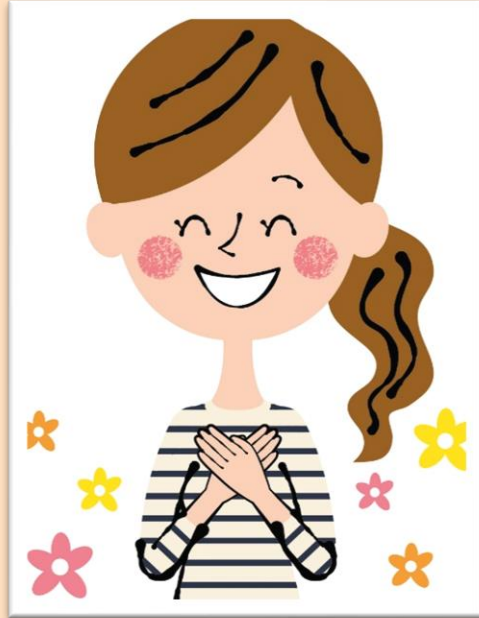


お子さんの脳を育てる  
質問&コミュニケーションは  
バッチリです！！

さらにお子さんの**特性**を知って  
質問をレベルアップすることで  
もっとお子さんのやる気を  
伸ばすことができます！

3~4  
点

## 「伸びしろママ」

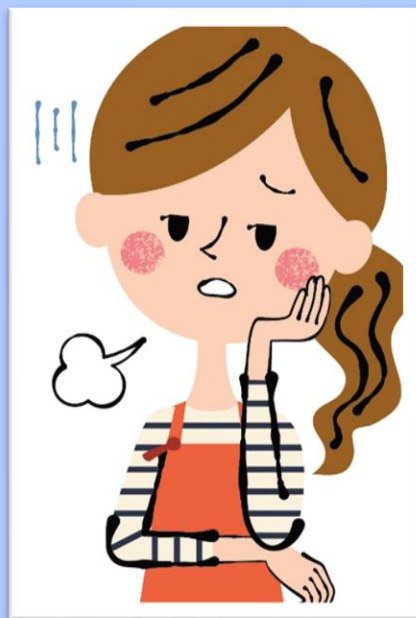


お子さんの脳を育てる  
質問&コミュニケーションまで  
もう少し！

お子さんの言葉や態度にとらわれずに  
**行動をよく観察する目を養う**ことで  
もっと楽な子育てができるように  
なります！

0~2  
点

## 「頑張れママ」



せっかくのお母さんの頑張りが  
お子さん脳に届いていなくて  
空回りされていらっしやいます。

これから変化率が急上昇する  
可能性に満ち溢れています！

ミスコミュニケーションを  
断ち切る方法を  
**個別相談でお話ししましょう！**



困っているのに  
ヘルプが出せない  
発達凸凹キッズの  
一生モノの

自信と伝える力

を授けるママになる  
質問力&コミュカアップ

3Step個別相談会

ダウンロード読者様特典

通常22,000円のところ

先着10名様限定、無料ご招待♪

90分・ZOOM  
PC・スマホで受けられます



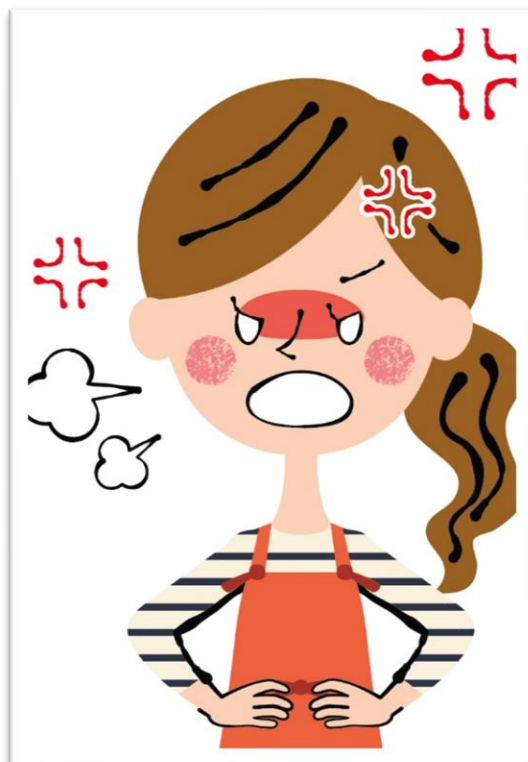
発達科学  
コミュニケーション  
トレーナー 横山美穂

▼お申し込みはこちらをクリック▼

<https://www.agentmail.jp/lp/r/6382/59838/>

# Chapter 4

## 私の暗黒の子育て期



# 私の暗黒の子育て期

私の長男は全く友達と遊ばないと幼稚園の先生から指摘され、病院を受診し**発達障害と診断**されました。

なかなか**障害ということば**を受け入れられず

他の子の3倍やらせてみんなに追いつかせなければと**嫌がる**息子にプリント学習をさせていました。

あるとき、長男に  
**「ママ、あんぱんまんの顔になって！あんぱんまんは笑っているよ」**

と言われたのです。  
きっと私は般若のような顔をして接していたのでしょうか。

長男を抱きしめながら「ごめんね、ごめんね」と二人で大泣きしたことを今でも忘れることができません。



私は初めての小学校の授業参観で  
長男の様子を見て愕然としました。

授業中、教科書の何ページを開いていいのかわからずに困っていて**不安な表情**。

休み時間は**ひとり**で校庭に  
ポツンとしていたことに。

入学して間もなく笑顔は見られなくなり、  
夏休み明けには全く登校できなくなり、わずか入  
学半年足らずで

**二次障害**になってしまったのです。

学校でエネルギーを使い果たしてきた  
長男のSOSに気付かなかった私は、  
頑張れ、頑張れ、もっと頑張れ！  
そんな子育てをしてきたのです。

だから、声を大にして言いたいのです！  
＼私のような失敗をしないで／

低学年まで**ヘルプを出す力**と  
**自信**をつけてあげて欲しいのです！

中学校にもなかなか馴染めずに、  
1年生の3学期から  
フリースクールに移りました。  
しかし、そこでクラスメイト数名から  
お金をまきあげられていたのです。

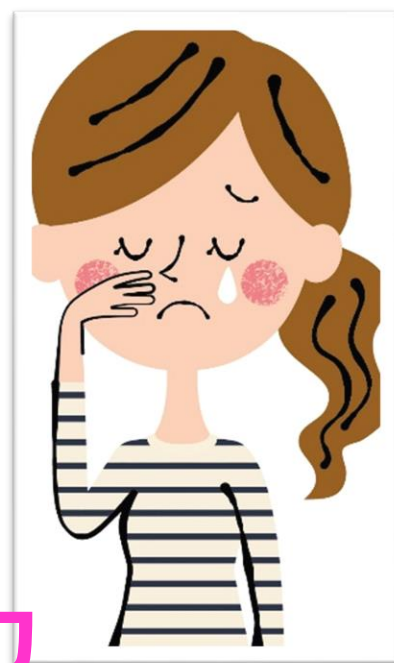
長男に訊いたところ

**「はじめてできた友達だから  
失いたくなかった」と**

泣きながら話してくれました。

私が後悔したことは

長男に **「NO」と伝える力**  
を授けていなかったこと。

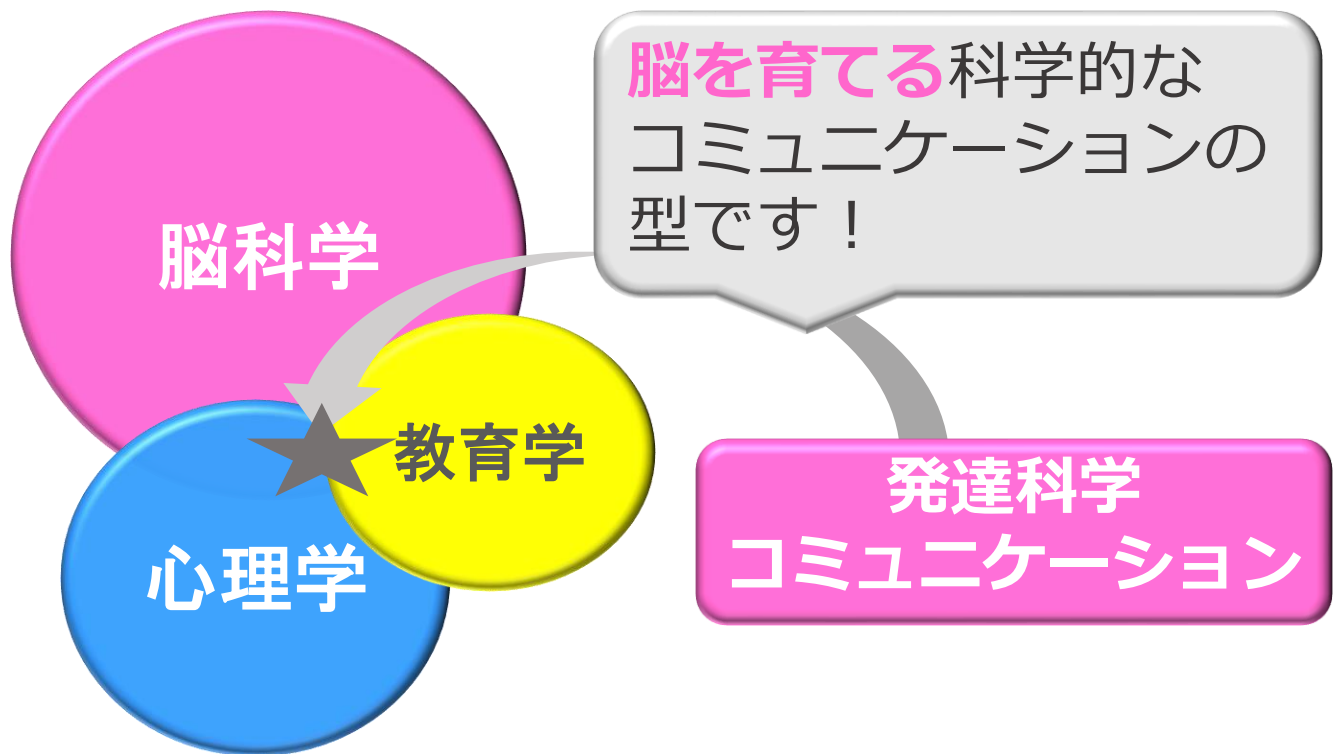


**相談できる親子の信頼関係**  
を創れていなかったこと。

こんなに親子で傷つくことはなかったのにと  
心の底から悔やんだのです。

# 脳科学に基づいた子育て法

発達科学コミュニケーションとは  
脳科学・心理学・教育学  
のいいとこどりで作られた



今までは、  
なぜ、これができないの？  
なぜ、こんなことを言うの？

そういった私の悩みであった  
息子達の言動、行動が

**脳**の**特性**だとわかったので

息子達の脳に届くコミュニケーションに  
変えていきました。

# やる気スイッチがはいった！

長男は、将来の**夢**を抱いてはいたものの具体的な行動には至っていませんでした。

ところが、私が長男の脳に届く**声かけ&質問**をしたことで、長男の**やる気を引き出す**ことができました。

目標から逆算し自らに勉強時間を掲げ体力テストのための筋トレも1日もかかさずに行なうようになりました。

**二次障害**にまで陥っていた長男が自ら自分の人生を**切り拓いていく力**を身につけることができました！



発達が気になる子の子育ては**「いますぐ対応」**が鉄則です！私のようにこじらせないでくださいね♪



困っているのに  
ヘルプが出せない  
発達凸凹キッズの  
一生モノの

自信と伝える力

を授けるママになる  
質問力&コミュカアップ

3Step個別相談会

ダウンロード読者様特典

通常22,000円のところ

先着10名様限定、無料ご招待♪

90分・ZOOM  
PC・スマホで受けられます



発達科学  
コミュニケーション  
トレーナー 横山美穂

▼お申し込みはこちらをクリック▼

<https://www.agentmail.jp/lp/r/6382/59838/>

## Chapter 5

ママの質問力を  
アップデートすれば  
お子さんの「伝える力」を  
グングン伸ばせます



# 質問の前のお約束！

子どもに質問をする前に、お約束があります！

子どもの答えは**すべて正解**です！

思った通りの答えでなくても

決して、**否定しないで**

「伝えてくれてありがとう！」と  
言えたらいいですね。



次に、お子さんが質問に対して  
「わからない」と答えとします。

**わからないのも答え**としてOKです。

また、子どもの気持ちを

知りたいがために

無理矢理引きだそうと、

**あれこれ質問する**のもNGです。

良好な親子関係が

**伝えたい気持ち**を

どんどん育てていくのです。

# 質問名人 Step1

## 選択肢がある質問をしよう！

伝えることが苦手なお子さんには  
お子さんが答えやすいように  
お母さんが**選択肢**がある  
質問をしてあげましょう！



**A**にする？ **B**にする？

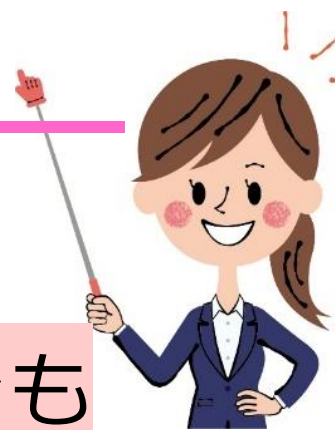
〈例〉

♪ピンクのシャツを着る？水色のシャツを着る？  
♪ひとりで片づける？お母さんと片づける？

子どもが**C**がいいと  
言ったら？

- 受け入れてもよいなら採用します！  
C案を提案できたことを**褒め**ましょう！

# Step1 解説



## 〈ポイント〉

★ **A**を選んでも、**B**を選んでも  
行動させる質問をします

脳は行動することで発達するからです！

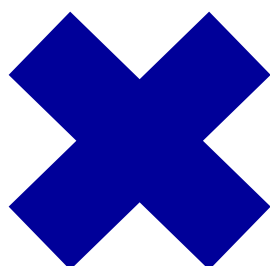
★ 選択させることで、自分で決めたという  
**満足感**も得られ行動しやすくなります。

★ Aを選んでもBを選んでもOKな質問にします！

## 〈NG〉

**やるの？ やらないの？**

は感情を逆なでするので言わないでくださいね！



# 質問名人 Step 2

## ヒーローインタビュー

「学校はどうだった？」

「幼稚園・学校はどうだった？」

と質問しても

**「わからない」** と答える子におすすめ！



### <解説>

**右の伝える脳**の発達がゆっくりでイメージがしにくいので

「わからない」と答えてしまうのです。

そんな子には右の伝える脳を刺激する質問をしてあげましょう！

「今日、一番楽しかったこと

**ベスト3** はなあに？」

「今週の給食の**ベスト3** はなあに？」

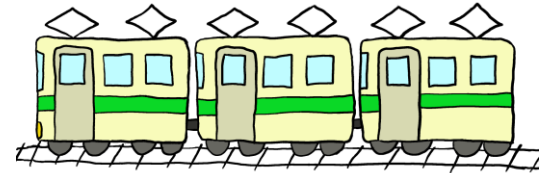
# Step 2 解説

<ポイント>



多くの出来事や情報の中から、  
**自分にとって  
大切なものにフォーカスする**  
練習をします！

**右の伝える脳**をたくさん刺激します。  
お子さんの好きなものを質問するのが  
ポイントです！



<例>

- ♪ゲームの好きなキャラのベスト3は？
- ♪好きな電車のベスト3は？
- ♪好きなアニメのベスト3は？
- ♪好きなプリンセスベスト3は？

それでもアウトプットできない子は  
「誰と遊んだの？」  
「何をして遊んだの？」  
と**具体的な質問**をしてみてください！

「伝える力」が伸びて、子どもが積極的になった  
発コミュ受講生さんの声をご紹介します♪

Mさん：小2男の子のママ

・・・・・・・・・・・・・・・・

自分の気持ちを話してくれるよう  
になり、苦手なことにも挑戦でき  
るようになりました！



体験談

### ◆ Before ◆

息子のできないことに注目をし  
毎日**イライラ怒ってばかり**の生活でした。  
勝手な私の理想ばかりを考え、  
子どもを焦らせるような声掛けをしてしまう  
自分に悩んでいました。  
宿題の時間になると、親子ともに**憂鬱な  
時間**とを感じるようになっていました。

### ◆ After ◆

自分のやりたいことを話してくれるよう  
になり、また**苦手なことにも挑戦**できるよう  
になりました！長い間、机に座って  
**集中できる**ようになりました。

私自身が子ども達を見守る時間が増え  
自分のやりたいことを優先して  
できるようになりました。

## Yさん：小1男の子のママ

.....

学校でも、自分の気持ちを相手に伝えることができるようになりました。

### ◆ Before ◆

子どもにちゃんと思いが届いていない一方的な接し方しかできていませんでした。子どもからは「お母さんは聞いてくれない」とよく言われていました。次第に私に、**心を開いて話してくれなくなりました。**

### ◆ After ◆

**よく笑う**ようになりました。  
お互いに**相手に寄り添う**コミュニケーションが取れるようになりました。  
学校でも、**自分の気持ちを相手に伝える**ことができるようになりました。

家族の笑顔を守るためには何をしたらいいのか、子どもが困った時はどう対応したらいいのか、**自分で解決**できるようになりました。



体験談

**0さん：小3女の子のママ**

.....

**学校での出来事や好きなアニメについてなど、いろいろなことを話してくれるようになり  
親子の会話が増えました。**

### ◆ Before ◆

発達でこぼこの我が子の子育てに関して褒めているつもりなのに**問題がなくなり**なんとかしたいと思っていました。

**学校行事に出られない、母子分離不安**  
傷つきやすいなどに困っていました。

### ◆ After ◆

去年は出られなかった運動会に出られました。

学校での出来事や好きなアニメについてなど、いろいろなことを話してくれるようになり、。  
**親子の会話が増えました。**

問題行動があっても、乱暴さがなくなり、  
回復が早くなりました。



困っているのに  
ヘルプが出せない  
発達凸凹キッズの  
一生モノの

自信と伝える力

を授けるママになる  
質問力&コミュカアップ

3Step個別相談会

ダウンロード読者様特典

通常22,000円のところ

先着10名様限定、無料ご招待♪

90分・ZOOM  
PC・スマホで受けられます



発達科学  
コミュニケーション  
トレーナー 横山美穂

▼お申し込みはこちらをクリック▼

<https://www.agentmail.jp/lp/r/6382/59838/>

最後に  
メッセージを  
お届けします！



長男が高校生のとき  
自分の診断書を偶然みつけてしまいました。

**「なんで僕は発達障害なの？  
なんで薬を飲んでいるのに  
治らないの？  
病院に行っているのに  
なんで先生は治してくれないの？」**

そう、泣きながら言われました。  
私は目の前で傷ついている長男に  
なにも言えませんでした。



発達障害ではないとよ言えばウソになり  
個性なんだよ！では片づけられません。

私自身も長男が発達障害と診断され  
過去に大きく傷ついてきました。  
私の胎教が悪かったの？  
なんで私の子どもなの？なんで・・・？  
答えのない自問を何度も繰り返しました。

発達障害という言葉に傷つく長男をみて  
発達障害ということばがない社会にしたい。

みんな違ってみんないい社会になれば  
多様性が認め合える世界になれば  
傷つく親子がいなくなるんじゃないかって。

傷つく子どもをなくしたい。  
孤独を感じているお母さんを救いたい！  
そんな想いで私は  
発コミュトレナーとして活動しています。

正直、発達でこぼこキッズの子育ては  
一筋縄ではいきません。

でも、お母さんのひとことが  
お子さんの将来を変えることが  
できるのです。

明るい未来を描きたい！  
そう願われるのであれば  
私はあなたを全力で  
サポートします。



## 著作権について

法的事項、本教材及び収録されているコンテンツは、著作権、知的財産権によって保護されていることはもちろんですが、購入ダウンロードされたコンテンツは、あなたの子育てに役立てることに限定して提供しております。

教材に含まれるコンテンツを、一部でも、書面による許可（ライセンス）なく、複製、改変などしてまた、あらゆるデータ蓄積手段により、複製し、転載、配布等、いかなる手段においても一般に提供することを禁止します。

コンサルタント行引用、転載、教育を希望する場合に、別途ライセンス契約が必要となります。

免責事項：

事例を掲載しておりますが、当然ながらその結果には個人差があります。この小冊子を使った結果に責任を持つことはできません。